



# 01

## 黒石市国民健康保険 黒石病院

### VOICE 糖尿病内科で地域の医療を学ぶ

広岡 遼太 (3年、京都府)

黒石病院の内分泌内科は、糖尿病について学習したい人や内分泌学の予習をしたい人に向いています。治療ガイドを実習を通じて熟読したことで、糖尿病について深い理解を得ることができました。また高齢者の医療や地域医療の現場を見れるので興味がある方はおすすめです。

どうしてその実習先を選んだのか？

#### 様々な診療科を見学したかった

長期休暇を利用して、色々な診療科を見学したいと思っていました。これまで消化器内科の内視鏡治療や小児科の見学をしたことがありました。今回は糖尿病・内分泌内科を見学できるということで、黒石病院を選びました。

実習先の良かったところは？

#### 初期研修先を選ぶポイントが学べた

地域住民の生活習慣など一人ひとりの背景を深く理解し、それに合わせて医療を行うことが大事だと気づけました。加えて病院の雰囲気や勤務体系、忙しさなどを解像度高く知ることができ、初期研修を選ぶポイントを学べました。

Kuroishi Hospital

### 実習の流れ

#### 黒石病院の実習スケジュール

#### 糖尿病・内分泌内科研修

午前

#### 糖尿病の学習

- ◆ 糖尿病治療ガイドを読む
- ◆ 糖尿病啓発ビデオ視聴
- ◆ 外来患者の電子カルテを読む



糖尿病治療ガイドを一通り読んだことで、国試レベル以上の糖尿病についての知識が身に付きました。

午後

#### 入院の立ち会い・学習

- ◆ 教育入院または普通入院する患者さんに立ち会う
- ◆ 糖尿病治療ガイドを読む

医療を展開するには地域住民の特性を理解することが重要であると思いました。(独身が多く、水分補給に清涼飲料水を使用する人多いこと、食生活や生活リズムの乱れ等)

大学病院レベルの医療を受ける必要のある患者が、年齢を考慮した予後や病床数不足で必要な医療を受けられない問題を目の当たりにし、地域医療の限界を感じました。

# Q & A

## 実習参加者の声

### Q1. どのような医師になりたいですか？

地域医療に携わりつつ、ワークライフバランスの安定した医師生活を送りたいと考えています。

### Q2. 最初に立てた目標は？

病院内の雰囲気を知ること、見学先である糖尿病・内分泌内科の具体的な仕事内容を理解することを目標にしました。

### Q3. 黒石病院までのアクセスは？

電車で最寄りの黒石駅まで行き、駅から宿泊先の旅館と黒石病院までは20分ほどの徒歩で行き来しました。自宅から黒石病院までは1時間半強かかりました。

### Q4. 実習に向けて準備したことは？

特に予習はしませんでした。泊まる旅館のアメニティについてもっと深く聞いておけば余計な買い物なくて済んだと思いました。

### Q5. 宿泊場所はどんなところですか？

地元の旅館である、富士見旅館に宿泊しました。朝8時から風呂入れましたので、朝風呂を満喫しました。アメニティはバスタオル1枚あり、歯ブラシや寝巻きや石鹸類は全て持参しました。トイレは共用でした。

### Q6. 食事はどうしましたか？

病院内で購入しました。

### Q7. 食費はどれくらいかかった？

1日あたり1,000円くらいでした。

### Q8. 持ち物は？

①実習着（ケーシー）、②白い靴（白ければなんでも可）、③名札の3つでした。名札は持参する必要がありましたが、どんなものでも大丈夫でした。

### Q9. 衣類以外の持ち物は？

ハンドタオル、アメニティ類全て、寝巻きを持参しました。

